

公益財団法人斎藤茂吉記念館令和4年度事業計画

1, 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア、常設展示 - 地階：常設展示室「斎藤茂吉とその作品」展

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品など」の展示・解説のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板・ジオラマの活用とともに、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子などの紹介を主軸とした展示構成で前年度から継続して実施する。

○茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ○茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと/デジタル画像等展示) ○茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭/生家周辺古地図) ○茂吉の生涯(ジオラマ解説:2台) ○茂吉の作歌姿勢 ○医学者茂吉(ジオラマ解説) ○茂吉の書画(日記・手帳の常時公開) ○茂吉の業績 ○茂吉の交遊 ○茂吉の著書 ○茂吉の肖像 他

イ、常設展示 - 地階：映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための展示映像について、定期的上映(約18分間)を実施する。(デジタルハイビジョン画像/静止画) ※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置する(常時)。

ウ、常設展示 - 1階：集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」展

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の復元展示、次男宗吉(北杜夫)旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨壺(遺骨埋骨後)・骨箱類の展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人々を紹介し、関連資料の展示を実施する。また、2番組の選択上映とした関連映像「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」、情報検索装置等「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」の継続的設置活用を実施する。

エ、常設展示 - 1階：ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは/短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」の展示

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ:斎藤茂吉記念館概説・茂吉全史/年譜・茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史/近代短歌の系譜、全国の歌碑分布状況と建立数)の掲示、メッシュパネル(斎藤茂吉短歌文学賞/事業概要・第1回から第33回までの各回受賞者の紹介、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール/事業概要・令和3年度第19回最優秀賞作品6首と優秀賞作品60首、入選作品200首)の掲示を行う。

オ、常設展示-別棟(みゆき公園内):「箱根山荘の勉強部屋」の設置

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に避暑・原稿等執筆のため利用した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の継続設置(上屋内)に伴う、音声解説装置と解説板(グラフィック展示)を設置する。※人感センサーによる音声解説と照明設備の起動設備設置

カ、常設設置-1階：ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等の各設置

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、短歌の普及として気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(ポスト)、茂吉自作短歌朗詠(継続設置)の各設置を行う。

キ、常設設置-1階：受付にて貸出「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」の設備設置と活用

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者のサービス向上等を目的とした機器設備(日本語解説15台、英語訳解説5台の計20台)の稼働で有料貸出を実施する。

※機器利用時において日本語・英語対応プログラムガイドの配布を行う。

ク、特別展「収蔵資料展-斎藤茂吉、新たな魅力の発見-」

新たな資料の収集活動状況等の周知と館内常設展示資料の補足とともに、日頃から展示する機会が比較的少ない資料等を中心として、斎藤茂吉の魅力についてさらに理解を深めてもらうために実施する。(チラシ・ポスター等印刷物作成のうえ周知)

※会期：令和4年4月29日(金)から同年8月30日(火)まで

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

ケ、特別展 生誕140年「若き日の斎藤茂吉-上山から東京へ-」

上山に生まれて、上京後は斎藤家の一員となり青年期に至るまでの斎藤茂吉の様子と、その時々的心情等を表した作品・資料を介して、若き茂吉の姿をとらえながら、数多くの優れた作品を残した背景等を探るため、生誕140年を記念して実施する。(チラシ・ポスター等印刷物作成のうえ周知)

※会期：令和4年9月16日(金)から令和5年3月31日(金)まで

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

(2) 資料の保存・整理と調査・報告事業

ア、資料管理のための環境等整備

寄託品を含む収蔵資料を円滑に活用するため、管理台帳等の整理と保存環境の整備(分類保管の再編)、資料等データ検索のための諸情報整備を行う。

イ、新たな展示に対応するための資料等の収集・整理

斎藤茂吉の魅力を深める新たな展示構成に対応し、収蔵資料の拡充とともに特別展等実施の円滑化を図るため、斎藤茂吉を中心とした作品等の収集を行う。また、別途に保管している遺族からの寄贈品(茂吉の長男・次男の遺品類)の内容確認と整理を、特別展開催に向けた準備を含めて行う。

ウ、展示活用のための収蔵資料の修復(修繕)等の実施

斎藤茂吉などの主要資料で、これから館内展示の核となる作品・資料の活用のため、収蔵品の修復と修繕などを行う。

エ、短歌・斎藤茂吉関連刊行物の調査と資料収集

県内短歌関連刊行物(歌集・歌論集等)と斎藤茂吉と親交した文人等の著作物収集を行う。

オ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物

◎「公益財団法人斎藤茂吉記念館年報 通巻第37号」(令和3年度)

公益財団法人斎藤茂吉記念館の前年度の決算後における諸事業等の年次報告冊子として、令和4年12月中旬を目処に発刊する。

◎館報「茂吉記念館だより-生誕140年記念号- 第25号」

斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の普及・研究等の冊子として、斎藤茂吉の生誕140年を記念した内容で、外部研究者等の寄稿を中心に、新規収蔵品、記念事業内容などを掲載して令和4年12月中旬を目処に発刊する。

(3) 学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(共催)

◎令和3年度第19回応募作品における最優秀作品(6作品)の表彰(最優秀賞受賞者の表彰)

生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会開催時の令和4年5月15日(日)に表彰式を実施する。

◎第20回短歌作品募集と選考(作品選歌)

小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定・募集(学校単位及び短歌団体ごとの応募)と、選考委員(第1次・第2次)による作品選考(最優秀・優秀・入選作品)を実施する。

◎入選作品集発刊 入選作品集「桜実(Sakurago)」

第20回(令和4年度)最優秀・優秀・入選作品全200首・選考委員の選評・最優秀作品受賞のことば等掲載、令和5年3月中旬に発刊する。

◎最優秀・優秀・入選作品掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー壁面)

第19回(令和3年度)最優秀作品(小・中・高校各部門2首/計6首)・優秀賞作品60首・入選作品全200首と事業概要を掲示する。

イ、公開講座

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と茂吉に対する理解、さらに、短歌の向上等を目的とした公開講座事業の一環として、超結社の歌会形式による定期的歌会(平成25年度からの継続事業)として年度内2回(通算21・22回目)を実施する。また、歌会終了後は特別展等展示作品解説(館長ギャラリートーク)を関連行事として行う。

◎第21回定例歌会

日時：令和4年6月12日(日) 午後1時～午後3時(開場12時30分)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)

作品総評：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人/「歩道」発行人)

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

定員：30人(有料/資料代実費/斎藤茂吉記念館入館料金含)

※館長ギャラリートーク：午後3時～午後3時30分・館内守谷夫妻記念室等(地階)

◎第22回定例歌会

日時：令和4年11月13日(日) 午後1時～午後3時(開場12時30分)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)

作品総評：秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人/「歩道」発行人)

運営協力：上山市内在住歌人(司会・進行等)

定員：30人(有料/資料代実費/斎藤茂吉記念館入館料金含)

※館長ギャラリートーク：午後3時～午後3時30分・館内守谷夫妻記念室等(地階)

◎出張(出前)講座

県内諸団体(非営利)主催の講演会・研修会等における斎藤茂吉及び短歌(作歌)等を学習テーマとした際の講師派遣を行う。(年度内随時受付) *講師：斎藤茂吉記念館館長・同職員

ウ、茂吉短歌ポスト

広く短歌を普及するため「短歌ポスト」を通年設置(館内に投稿箱配置)するとともに、投稿用紙の作成・配布(観光施設等)、投稿作品の選歌(50首を目処に年度内3回程度)と入選者公表、作品集の発刊、第50回かみのやま温泉全国かかし祭会期中の特別投稿箱かかし等の出品(上山市内にて令和4年9月開催予定)を実施する。

エ、ホームページ

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉の諸情報の提供、主催等諸事業に関する情報発信等を目的として継続設置と定期的情報更新を行う。

オ、有料動画の配信と販売・新たな動画の制作

○斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の普及と周知のため、斎藤茂吉記念館の施設(内・外観)・展示内容ほか、主要資料の紹介などを対象として制作した紹介動画(館長・著名歌人出演)を有料で配信する。(令和3年度より継続)

○紹介動画の普及を図るため、DVDを制作し、斎藤茂吉記念館内の販売とともに上山市ふるさと納税の返礼品等として活用する。

○生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会行事の埋骨式、記念鼎談・記念講演を映像で記録し、必要に応じて編集・動画配信を行う。

カ、観光・宿泊施設と飲食店等に対するパンフレットの作成・配布(設置)

上山市内滞在の宿泊者及び同市内飲食店利用者等を対象として、斎藤茂吉記念館の周知と誘客のため、施設(内・外)概要・展示内容ほか、年間展示・行事スケジュール等を記載したパンフレットを作成し、年度当初より対象施設に配布する。(以後1年毎配布)

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催)

斎藤茂吉の業績顕彰と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と関連事業として斎藤茂吉記念歌集の事業を実施する。

◎生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会

※令和4年5月15日(日)午前9時から午後4時50分までの時間帯にて諸行事を実施

※斎藤茂吉記念館は自由見学(5月13日～同16日まで事前申込者に限り入館無料)

※諸行事参加(入場)は無料

○墓前行事(宝泉寺)：法要・記念歌集献上／関係者のみ参列

○斎藤茂吉の遺骨埋骨式「埋骨式・墓参(宝泉寺)」

※納骨：斎藤家遺族・親族・全国大会関係者・主催者

※一般参加者は埋骨式後墓参・地区内自由見学可

○第33回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(贈呈/選考経過報告/受賞者挨拶)

○令和3年度第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀賞作品表彰式(受賞対象者6人/選考委員経過報告)

○記念鼎談「斎藤茂吉とその家族(妻・子・孫たち)」(50分)

※鼎談者(3氏)：斎藤茂一氏(斎藤茂太長男)・斎藤由香氏(斎藤宗吉[北杜夫]長女)・秋葉四郎氏(斎藤茂吉記念館館長・歌人/「歩道」発行人)

○記念講演 吉川宏志氏/演題「ニュース映画を観る斎藤茂吉」(50分)

会場：三友エンジニア体育文化センター(上山市体育文化センター)エコーホール

◎斎藤茂吉記念歌集第48集

一般作品及び児童・生徒秀歌作品(第19回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール入選作品)を収載し発刊(令和4年5月14日/斎藤茂吉生誕日)する。※生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会開催時において墓前(宝泉寺)に供え、投稿者には全国大会参加時及び後日郵送等により配布する。

◎第34回斎藤茂吉短歌文学賞事業 山形県と共催事業として実施する。

◎没後70周年第49回斎藤茂吉記念全国大会事業(共催)

令和5年が斎藤茂吉の没後70周年にあたることから、それを記念した行事を踏まえた実施要項の策定及び参加募集と周知(チラシ等作成)、参加者の増加を目指した新たな行事等の企画の検討、同記念歌集第49集の投稿募集と周知・歌集発刊準備(編集)を行う。

※開催予定日：令和5年5月14日(日)

イ、没後70周年第56回茂吉忌合同歌会(共催)

斎藤茂吉の顕彰と県内歌壇等の振興・交流等を図るための茂吉を追悼する超結社の歌会として、没後70周年を記念する特別行事「記念対談講演」と歌会を、茂吉の命日に近い日曜日に実施する。

※開催予定日：令和5年2月26日(日)午後～ 会場：斎藤茂吉記念館 集会室

実施内容：歌会参加と作品の募集・記念対談講演・選者講評・特選入選者表彰等

ウ、業績顕彰事業内容の見直し

斎藤茂吉記念全国大会及び茂吉忌合同歌会の各事業に賛同する歌人の高齢化と参加者の減少傾向が近年特に顕著であり、新型コロナウイルスとの共生を前提とした対応も含めた中・長期的展望に立った事業の基本的内容の再検討を行う。

◎斎藤茂吉生誕記念日の普及

茂吉の生誕日5月14日を「斎藤茂吉記念日」として周知普及するため、一般社団法人日本記念日協会に対してその申請を行った後、生誕140年第48回斎藤茂吉記念全国大会の開催時においてその認可発表を行う。この記念日の制定と普及は、生誕等事業見直しの取り組みの一環として、今後継続的に実施するために検討を行う。

◎斎藤茂吉没後70周年記念の普及

令和5(2023)年は斎藤茂吉が死去した昭和28(1953)年2月25日から没後70周年であることを周知普及するため、一般社団法人日本記念日協会に対してその申請を行った後、没後70周年第56回茂吉忌合同歌会の開催時にその認可発表を行う。この周年記念の制定と普及は、没後・命日等事業見直しの取り組みの一環として、没後71年以降における茂吉追悼事業について今後継続的に実施するために主催者等の間で検討・協議を行う。

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア、かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館3館)事業

3館共同印刷物「かみのやまウエルカムパスポート」の発行(前年度からの継続)と各館有益な共催事業を検討・企画する。

※文芸誌等に対する情報提供(広告枠掲載/毎月)

イ、各地関連施設の企画展及び刊行物発刊等に伴う情報・資料提供等

博物館等関連施設の企画展開催、自治体・出版報道機関・短歌団体・個人等からの情報・資料提供(出品)・調査・執筆等の要請に対する協力を行う。(年度内随時)

○「市報かみのやま」における斎藤茂吉生誕140年・没後70周年を記念した特別企画に対する寄稿(令和4年4月号から令和5年3月号まで秋葉館長随筆の掲載)

2, 物販事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における物販事業

収蔵・展示資料等に関連した自主作製品の販売と、見学者に有益な資料を供するための委託販売を継続的に実施する。さらに、販売実績向上を目指した新規商品の開発と絶版品の再製品化、上山市ふるさと納税返礼品としての販売の推進、ホームページを活用した通信販売等の継続的实施を行う。

3, 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営

ア、斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく設立と運営

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として斎藤茂吉記念館開館50周年を記念して平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、入会の勧誘・促進を図り、公益事業全般の充実等に活用する。あわせて、活動支援募金に取組み、所蔵作品・資料の修復や記念館の設備更新等費の一部として活用する。

イ、公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

齋藤茂吉並びに齋藤茂吉記念館の普及・周知等のために、齋藤茂吉の親族を対象とした大使の任命について、任期満了に伴う継続任命(令和4年4月1日～同6年3月31日までの2年間)を行う。

(委嘱状の交付：令和4年4月1日)

※任命対象者(齋藤茂吉の孫)2氏：齋藤茂太長男 齋藤茂一氏・北杜夫長女 齋藤由香氏

ウ、齋藤茂吉の親族等に対する対応

- 上山市金瓶「宝泉寺」の齋藤茂吉墓域管理並びに整備等の協力(金瓶学校保存会の活動に対する協力等)
- 令和2年度に茂吉の次男宗吉(北杜夫)の遺族から受領した齋藤茂吉の遺骨は、令和4年5月15日開催の生誕140年第48回齋藤茂吉記念全国大会墓前行事後の「埋骨式」として、齋藤家遺族、親族を招いて執り行う。

(2) 施設管理

ア、管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活用

管理規則に基づく休館を実施し、休館期間中を活用した諸業務を実施する。

- 第3条第1項第1号に基づく休館「水曜日」の実施
- 第3条第1項第2号に基づく休館「国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日」の実施
- 第3条第1項第3号に基づく休館「前2号に規定する休館日に重なる場合は、その翌日」の実施
- 第3条第1項第4号に基づく休館「12月28日から翌年1月3日まで及び7月第2週の7日」の実施
※7月の休館日(7月3日[日]から同月9日[土])を利用した施設・設備の点検、展示ケース内の管理(設備・資料等の点検・清掃)、収蔵庫内の資料整理

イ、齋藤茂吉記念館施設の利用・管理・改修

- 倉庫(物品・作業庫)設置工事及び既存倉庫解体・撤去
- 廃棄物集積庫新設
- 既存倉庫改修
- 館内エレベーター設備機器の管理(定期点検)の実施
- 多目的トイレの利用案内と管理の実施
- その他、建物内外のバリアフリー箇所の案内と管理の実施

ウ、齋藤茂吉記念館周辺の整備

- 齋藤茂吉記念館駐車場周辺の整備(看板等設置)と開発等に伴う協力の実施